



木登り器 を安全にご使用いただくために

この度は、「木登り器」をお買上いただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱い説明書を最後までよくお読み下さい。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。



警告

→ ご使用前は

(1) 次のような場合はお使いにならないで下さい。

- ・悪天候時(降雨、降雪、強風、露)、夜間
- ・落石や雪崩の恐れがある場所
- ・体調が悪いとき、病気のととき、酒、薬の影響の恐れのある時
- ・正常な判断と的確な操作ができない恐れのある場合
- ・その他、危険な状況と思われる場合

(2) 無理に使用しないで下さい。疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。

作業計画にゆとりを持たせてください。

(3) きちんとした服装で作業して下さい。

- ・高所作業、枝打ち作業に適した服装。
- ・刃物、鋸を使用する場合、すそじまりのよい長袖、長ズボン、手袋を着用。
- ・物に引っ掛かりやすい物は、身につけないで下さい。
- ・ヘルメットなど、規格に合格した保安帽を着用して下さい。
- ・枝打ち作業時は、保護メガネを着用して下さい。
- ・地下足袋などの動きやすく滑りにくい靴で作業して下さい。

(4) 各部の始業前点検を十分にし、締付状態、部品の破損、取付状態、その他使用に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。異常がある場合は、すみやかにお買い上げの販売店にご相談のうえ部品交換や修理を行ってください。絶対にご自分で修理を行わないで下さい。又、異常のあるまま、使用しないで下さい。

(5) 純正部品以外のものを使用しないで下さい。事故やケガの原因となります。

→ ご使用中は

(1) 無理な姿勢で作業しないで下さい。

- ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、体全体でバランスを取って下さい。
- ・無理な体勢での作業は、転落の危険があります。

(2) 作業は、ゆとりを持って行って下さい。

- ・取扱い方法、作業の仕方、周囲の状況、対象木の強度の確認などを十分注意して、慎重に作業して下さい。

(3) 必ず**墜落制止用器具**を装着してください(※別売り)



- (4) 枝打ち作業など刃物(ナタ、鋸など)を併用される場合、ケガをしないようにして下さい。立ち上がった姿勢の方がバランスを取りやすいです。
- (5) ワイヤーのピンは左右対称にツノ部の穴に一番奥まで差し込み、ワイヤーについているゴムはピン下部に引っ掛け、安全確認をしたうえで作業をはじめして下さい。
- (6) 肩掛けロープ、上下連結ロープは、お客様の体型に長さを調節したうえでご使用下さい。
- (7) 上昇、下降の操作になれるまで2m以上登らず練習して下さい。又、作業になれても油断せず、安全に気を付けて作業して下さい。
- (8) ワイヤー部をナタ・鋸で傷つけないで下さい。転落の危険があります。
- (9) 木の周りを「木登り器」上部と下部を少しずつずらして下さい。危険ですのでバランスを崩さないように作業して下さい。
- (10) 作業を開始する前に製品各部を点検し、異常がない事を確かめて下さい。特に、次のような異常は、放置すると危険ですので、速やかに使用を中止し、修理をお買い上げの販売店にお申し付け下さい。
 - ・ツノの変形、破損、その他異常
 - ・各ロープの破損、異常
 - ・ツノ取り付けボルトの緩み
 - ・ワイヤー部の亀裂、著しい形くずれ、腐食

→ ご使用後は



- (1) 乾燥した場所にきちんと保管して下さい。
- (2) 金属部分にはうすくオイルを塗ってください。(ピン・ゴム部分には絶対油を塗らないで下さい。)
- (3) 本製品は、改造しないで下さい。使用中に破損したり、正常な操作ができなかったり、転落の危険があります。
- (4) 修理は、お買い上げの販売店にお申し付け下さい。
- (5) この安全に関する注意文と取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合など、必要に応じてご参照下さい。

❖ ワイヤーに関して

- (1) ご自分で加工しないで下さい。落下の恐れがあります。
- (2) ワイヤーは、消耗品であり、損傷には特に注意して下さい。
- (3) 油脂分が十分であること。(ピン・ゴムは絶対に油を付けないで下さい。)
- (4) ワイヤーロープの素線が一本でも切断しているものは、交換して下さい。
- (5) 金属疲労を起こしている恐れのあるものは、交換して下さい。
- (6) ワイヤーロープの径が5%以上細くなったものは、交換して下さい。
- (7) 著しい形くずれ、又は腐食のあるものは、交換して下さい。
- (8) 耐久年数、随時。その都度交換して下さい。
- (9) 指定の純正ワイヤー以外は、使用しないで下さい。非常に危険です。



「木登り器取扱い方」

	<p style="text-align: center;">各部名称図</p> 	<h2>7つの特徴</h2> <ol style="list-style-type: none"> ① 両手で作業ができます。 ② 急斜面での作業も疲れません。 ③ 木の周りを回れます。 ④ 手軽に運べます。 ⑤ 誰でも簡単に使えます。 ⑥ 高所でも安心です。 ⑦ 枝打ち、高所の索張りも能率アップ。
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>(A)(B) とも、ワイヤーを木の太さに合わせて、ピンをツノパイプの穴に差し込みます。</p>
	<p>ピンに付いている押えゴムをツノパイプの下に出ているピンの先に引っかけて固定します。</p>
	<p>つま先を足部の足掛棒の下にひっかけるようにして、足乗台に足を乗せます。</p>
	<p>(B)の上に立ち上がり、Aを引き上げ、(A)(B)をつなぐロープを体に合わせて調節します。</p>
	<p>肩バンドを必ずたすき状に掛け、長さを調節して(A)に取り付けます。補助ロープは腰に2回巻に結びます。もう片方のロープの端(金具付)を(A)のワイヤーに沿って木に一巡させロープに掛けます。</p>
	<p>①(B)に体重を移し、立ち上がります。そしてAを持ち、腰の位置に合わせて引き上げます。 ②(A)に座ってつま先に力を入れてBを引き上げます。 ①②の動作を繰り返し、シャクトリムシのように登っていきます。降りるときは、この逆の動作です。 ※安全のために必ず墜落制止用器具をご使用ください (※別売り)</p>